

令和6年度 古河市立総和南中学校 校内コンプライアンス推進計画

1 ねらい

- ・本校の教職員一人一人が、コンプライアンス（法令遵守）に対する認識をしっかりと、学校が一つのチームとして、コンプライアンスの確立に向けて取り組んでいけるようにする。（「当事者意識の高揚」「違和感の共有」）
- ・保護者や地域社会から信頼される学校づくりにつなげる。

2 年間計画

月	主な内容	研修の詳細
4月	・今年度の研修内容について ・個人情報の適正な取扱いについて	・今年度の研修内容について全教職員で共通理解を図る。 ・学年別で、具体的な個人情報の取扱いの在り方について考え、詳細のルール（文書の保管場所やデータの保存の仕方等）を設定する。
	・適切な運動部活動の実施について	・部活動費の取扱いや保護者会との連携について、全体で共通理解を図るとともに、各部毎に再確認する。
5月	・服務規律の確保に向けて （飲酒運転、わいせつ事案）	・「One IBARAKI」及び新聞記事を活用し、事例を取り上げ「自分だったらどのように対応するか」を小グループで意見交換する。
6月	・個人情報の取扱いに係る留意点について	・今、各自の机上や座席の近くに「個人情報」がどれくらいあるか確認する時間を設け、教職員が日々多くの個人情報を扱っていることを再確認する。
7月	・飲酒運転の根絶に向けて	・1学期のまとめ、及び夏季休業を迎えるにあたり、コンプライアンスに係る「自己チェック」及び夏季休業中の個人の重点項目を設定する。
	・盗撮等の根絶に向けて	・「盗撮は重大な犯罪行為」であるということを再認識するために、県から提供された研修動画を視聴する。
8月	・個人情報漏洩・紛失の未然防止について	・事例を取り上げ、どうすれば個人情報の漏洩や紛失を防げることができたかについて意見交換する。
9月	・交通法規の遵守と交通事故の未然防止	・見落としやすい交通法規をとりあげ、自身の車の運転の仕方や通勤路における危険箇所等を再確認する。
10月	・体罰、不適切な指導の根絶	・日頃の生活場面でよくある指導場面を取り上げ、その生徒に対してどのような指導（声のかけ方、用いる言葉等）をすべきか考える。
11月	・ストレス解消について	・日々のストレスを自覚するとともに、その対処法を考える時間を設定することで、働きやすい職場環境づくりにつなげる。
12月	・学校徴収金の適切な処理について	・これまでの学校徴収金の記録を複数人でチェックし、適正に処理が行われているか確認及び報告をする。また、次年度に向けて改善策等があれば共有する。
1月	・わいせつ・セクハラ等の防止に向けて	・事例を取り上げ、少人数でグループをつくり、グループ毎に、どうすればわいせつやセクハラを防止することができるかにつて協議する。
2月	・守秘義務について	・本校に勤務していることで知り得た情報は、勤務校が変わっても決して漏らしてはいけないことを、事例にもとづき共通理解を図る。
3月	・コンプライアンスの確立に向けて（一年間の振り返り）	・一年間の振り返りとして、コンプライアンスに係る「自己チェック」を行う。

3 活用及び参考とする資料

- 「信頼される学校であるために」（平成28年3月）
- 「体罰防止マニュアル（改訂版）」（平成25年8月）
- 「ヒヤリ・ハット事例集」（県西教育事務所）
- 「管理職のためのサービス管理ハンドブック」（令和2年12月）
- 「One IBARAKI」（茨城県教育庁学校教育部教育改革課）
- 「県西教育事務所だより」
- 各種新聞記事等
- 各通知、通達等